



受験 番号				
座席 番号				

二〇二二年度 二月二日 入学試験 国語問題

国語の注意 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

答えは解答らんからはみ出さないように書きなさい。

字数の指定がある場合は、句読点や記号なども一字に数えなさい。

【試験についての注意事項】

- 1 机の上に出してよいものは、次の三つです。それ以外のものはカバンにしまってください。
 - ① 受験票（机の左上におきます）
 - ② えんぴつ数本（シャープペンシルも可・色ペンやマーカー、定規の使用は不可）
 - ③ 消しゴム
 - 2 次のものを持ってきた場合は、カバンにしまってください。また、休けい時間中も使用してはいけません。
 - ① 腕時計・置き時計など（音が鳴らないようにしてください）
 - ② 携帯電話（電源を切ってください）
 - ③ 腕時計型の情報端末（Apple Watch など）
- ※ 許可なく携帯電話・スマートフォンや腕時計型の情報端末を使用した場合、不正行為とみなすことがあります。
- 3 机の中には、何も入れないでください。
 - 4 チャイムが鳴ったら、次のことを記入してから始めてください。

問題用紙 ↓ 受験番号と座席番号
 - 5 解答用紙 ↓ 受験番号と座席番号と氏名
 - 6 問題についての質問は、いっさいできません。
 - 7 気分が悪くなったなら、すぐに申し出てください。
- 物を落としたら、自分でひろわず、手をあげてください。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

(長江 優子『サンドイッチクラブ』)

問一 〓線①～③のかたかなを漢字に直しなさい。

問二 【1】～【4】にあてはまることばをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ようやく イ やつぱり ウ ぼんやりと エ いつも

問三 A突飛・Bたたみかけの本文中での意味として最も適切なものをそれぞれの選択肢から選び、記号で答えなさい。

A 突飛

ア いきなりでとまどう様子

イ 相手が理解できない様子

ウ 思いもよらない様子

エ 相手の勢いに押される様子

B たたみかける

ア 相手に理解してもらうために丁寧に働きかける。

イ 相手に余裕をあたえないで続けざまに働きかける。

ウ 相手より優位に立つために猛烈に働きかける。

エ 相手を安心させるようにやさしく働きかける。

問四 Cしどろもどろと反対の状態を表すことばをこの後の文中からさがし、四字で抜き出しなさい。

問五 〓線(1)「ずっと一族低空飛行中なんだ」とありますが、「一族低空飛行中」の内容を具体的に述べている部分の始めの五字を答えなさい。

問六 〓線(2)「下くちびるをかんてーブルを見つめている」とありますが、この時のヒカルが説明しなさい。

問七 「ダッシュして(3)に立ってやる」とありますが、(3)にあてはまることばを考えて漢字二字で答えなさい。

問八 〓線(4)「珠子はゆっくりと顔を上げた」とありますが、この時の珠子の説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 個性的なヒカルに惹かれはじめて、もっとヒカルやおばあさんの話を聞きたいし、仲良くなりしたいし、自分のことも分かかって欲しいと思いはじめている。

イ 塾に通わせてもらえて恵まれた環境にあることに気づかずにはいたが、お金があるからチャンスを得られることをヒカルに教えられて自分にもやる気が起こりかけている。

ウ 勉強ができなくて自分だけがだめな子なんだという劣等感でモヤモヤしているため、ヒカルのが受け入れられず、ヒカルと目を合わせることに抵抗を感じ始めている。

エ 受験や塾に向き合えない自分に不安やいらだちを感じていたが、自分がどう変わりたいのかが意識されていないからだとしてヒカルに指摘されて、解決の突破口が開きかけている。

問九 次のA～Fは本文についての生徒たちの話し合いです。(1)・

②・③・④にあてはまることばをそれぞれの字数で答えなさい。⑤・⑥については後の問

1・2に答えなさい。

A 私はヒカルのおばあちゃんについて考えさせられました。「戦争はまだつづいてる」と言い続けていたのはなぜだったのでしょうか。

ヒカルがおばあちゃんを語るところで「おばあちゃんの中ではつながらてるんだって。見えない黒い糸が見えたんだって」とあるのを考えてみると、おばあちゃんにとって戦争は実際に体験していなくても、

① 二十字以内 と考えられるのではないのでしょうか。

B 私が平和学習に行ったとき、お話をされた方は皆、戦争の体験を、今日の前で起こっているように語っていらっしやいました。「戦争はまだつづいてる」とおばあちゃんが言ったことは真実だと思えてきます。

C 私はヒカルの家の描写のところ、「窓の横に防毒マスクをかぶったクマのぬいぐるみがおいてあった。自動掃除機はクマの前でびっくりしたようにくるくる回って急停止。」が気になります。「クマのぬいぐるみ」は入学式に防毒マスクを学校に持っていかなかったヒカルをさして、その前で止まる「自動掃除機」は ② 二字 をたどえていると読みました。この場面以前 ② は「えっ？」をくり返してばかりだったのが、これ以降自分のことを語り始めるようになるので ② の気持ちの転換点になっています。

D 私もそのあたりが気になっていて、違うことを考えつきました。私は防毒マスクのクマのぬいぐるみは ③ 二字 を象徴しているのではないかと思いました。そして「自動掃除機はクマ（ ③ ）の前でびっくりした」とあるので自動掃除機は私たち人間を意味しているのではないのでしょうか。

E そうとれますね！ 自動掃除機が人間を表すのであれば「くるくる回って急停止」するのは ③ というものを前にして、私たち人間が

④ 十五字以内 状態を表しています。

F この作品は登場人物の心象表現に優れていると思います。「ヒカルのまっすぐな思いが珠子の胸に深くささった。まるで熱い手で心臓をつかまれたような感じがした。小さなリングをやさしく包みこむように、でも、けっして落ちてしまわないようにしっかりと。『やだなあ、アップルパイになっちゃうよ』」も印象的な表現です。「小さなリング」は

⑤ をたどえていると考えると、この時の珠子の気持ちは ⑥ のでしょう。

1 ⑤ にあてはまる内容として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

A 珠子とヒカルの絆 イ 珠子の劣等感

ウ ヒカルへのあこがれ エ 珠子に芽生えた希望

2 ⑥ にあてはまる珠子の気持ちとして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

A 優等生のヒカルの意識が高すぎて自分とかけ離れていることに気が後れしていたが、ヒカルの家のことやおばあちゃんとの関係を知ることによって、ヒカルへの親近感が生まれてうれしかった

I 卑屈な自分にヒカルは「だめじゃない」とはつきり否定してくれて、自分へ鋭い指摘をするものの、悪意などは感じられず、今の自分でいいのだと思えて安心した

ウ ありのままを打ち明けた自分に対して、ヒカルは真剣に意見してくれ「なりたいたい自分が変われるよ」と背中を押すように励ましてくれることでヒカルへの信頼と友情が実感できて感激した

E ヒカルに今の自分のための状態を厳しく言い当てられてしまいショックであったが、「なりたいたい自分」を思い描くことで勉強に対しても本気になれそうではあった

問十 — ★(1ページ上段) 「桃沢さんは大切な人に冗談で自分の夢を誓える?」とありますが、ヒカルはおばあちゃんをなぜ「大切な人」と思っているのですか。六十字以内で答えなさい。

問十一 本文中には、次の第二問の本文中に書かれる「人の魂たましいに訴えうたかけ」で「心を支えるために必要な物語」(第14・15段落)にあてはまるものが複数あります。そのうちの一つを答えなさい。

二 二 次の文章は、臨床心理学者の河合隼雄はやおと作家の小川洋子との対談集『生きるとは、自分の物語をつくること』の、小川洋子による「あとがき」の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

※設問の都合により段落番号を付してあります。また、本文の一部に改変があります。

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

問一 線①～④のかたかなを漢字に直しなさい。

問二 第5段落の内容を次のように整理しました。これについて後の問いに答えなさい。

A	自然科学に基づいて人間の死について論理的な説明ができて、私の死、私の親しい人の死、については何の解決にもならない。
B	↓
C	私の死、私の親しい人の死の恐怖や悲しみを受け入れる。死の存在と折り合いをつけられる。
人間は表層の悩みによって、深層世界に落ち込んでいる悩みを感じないようにして生きている。表面的な部分は理性によって強化できるが、内面の深いところにある混沌は論理的な言葉では表現できない。	↓ 身体と精神、外界と内界、意識と無意識を結びつけ、自分を一つに統合できる。 内面の深いところにある混沌を表層の意識とつなげて心を一つの全体とし、更に他人ともつながってゆく。

1 表のC段階に分類される四つの表現の共通点から考えて、A段階はどのような状態だと言えますか。それを表すことばとして最も適切なものの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 平和
- イ 納得
- ウ 分断
- エ 解決

2 表のB段階にあてはまることばとして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 論理 イ 理性 ウ 物語 エ 努力

問三 筆者「私」が「書くことの意味」について考え、答えを見出していく過程を読んで、次の問いに答えなさい。

1 次のア〜カについて、本文の説明とあてはまるものには○を、そうでないものには×を、それぞれ答えなさい。

ア 第3段落にある「相手の質問を受け取り、その言葉を自分の中に響かせ、そこから聞こえてくるものに二人で一緒に耳を澄ませる」とは、インタビュアーを聞き手と共同して自分自身を探求する機会ととらえる考え方を表すが、若い頃の「私」はインタビュアーを対決のように思っていた。

イ 第6段落にある「虚勢の鎧」とは、第3段落にある「少しでも自分を大きく見せようとし、たとえ中身はスカスカでも形だけは強固な理屈を求めて」作り出していた「書くことの意味」の論理的な説明のことである。

ウ 第7段落で「私」は、「なぜ生きるのか」という問題に対して科学によって究明された論理的な説明が「なぜ書くのか」という問題にもあてはまることに気づいている。

エ 第10段落にある「ナラティブ・ベイスト・メデイシン」の考えが「私」に物語の意義を確信させ、「私」は以後、重い病気に悩む人々を治療するため、またその家族を支えるために小説を書くことにした。

オ 第13段落にある物語『家庭の医学』の内容と第15段落にある遠い町の治療室での語りは、事情が異なるとはいえ「誰かの心を支

えるために必要な物語」である点は共通している。

カ 第15〜17段落に書かれているのは、世界中にたくさんいる無名の作家がつくった物語を世の中に広く紹介することが、すでに有名になった自分の役割だという確信である。

2 第7段落にある [] に入ることばとして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 小説家 イ 人間 ウ 読者 エ 病人

3 線(1)「持て余していた私自身の混沌」とあるように、「私」は小説を書くことの意味を明確にできず悩んでいましたが、それは小説と現実の関係について「私」にどのような思い込みがあったからですか。第7段落より後の内容から説明しなさい。

問四 線(2)「これこそまさに、物語が人を救う姿そのものではないでしょうか」とありますが、その説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 母のための帽子を一緒に選ぶ時間がこの母娘の支えとなったことは、科学的には説明できないが、まぎれもなく真実である。

イ 母娘は悲しみのあまり理性を失い、死が訪れるという現実がわからなくなってしまうというのが事の真相である。

ウ 医者^{いしや}の診断は一般的な予想に過ぎず、努力すれば治ると本人が信じる^{しんじ}ことが奇跡^{まがまが}を呼ぶ^{よびよ}ぶというのが世の常である。

エ 重い病気になった人が家族と一緒に未来の話^{あしたのこたえ}をすることで心癒される^{こころをなぐさ}るのは、どんな場合にもあてはまる揺るがない真理である。

問五 次の図は、『家庭の医学』の母娘と、筆者「私」の「物語」を表したものです。 [A] [B] にあてはまる内容を文中のことばをかついて答えなさい。



